

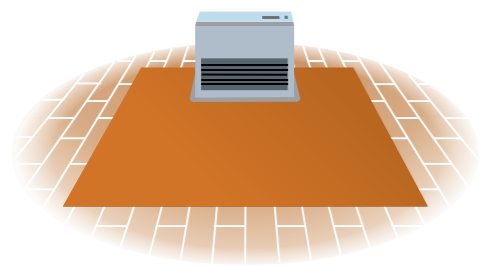
無垢材の特性について

天然木を使用している為、1枚1枚全ての色柄が異なります。施工する前に仮並べをして全体の色柄のバランスをご確認ください。天然木の特性上、水分の吸収による伸び、水分の放出による縮みを通年中繰り返しています。換気についてご注意ください。

- ⚠ 浴室付近や地下室等、水分や湿気の多いところではご使用になれません。
- ⚠ 居室等においても十分に換気できるように換気設備を設置してください。

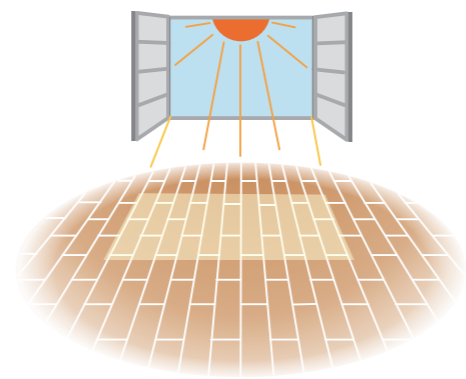
暖房器具について

温風ヒーターやストーブなどの熱が直接、床面にあたるような使用は避けてください。床材の隙間、ひび割れを起こす場合があります。特に床暖用フローリングにはカーペット（ホットカーペット含む）や絨毯を敷いたりしないでください。熱がこもり、色ヤケやひび割れを起こす場合があります。



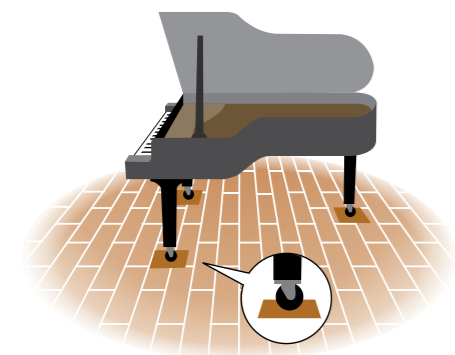
直射日光などの注意

紫外線などの影響により床材が変色、シミ、ひび割れなどの原因となります。カーテンやブラインドなどで直射日光を遮ってください。



家具・重量物の設置移動など

ピアノや冷蔵庫など重量物の脚部には必ず保護板などで床材にかかる重量を分散させてください。傷やへこみの原因となります。



水濡れについて

フローリングにとって水は大敵です。長時間の雨漏りや水濡れは反りや突き上げ、床鳴りなどの原因となりますので速やかに拭き取ってください。また、窓際や植木鉢の下は結露がたまりやすくシミになりやすいので注意してください。



副資材



JIS A 5536 F☆☆☆☆ JAIA 4VOC 基準適合

EP-72F (エポキシ樹脂系)

主剤：10kg/缶 硬化剤：10kg/缶 ￥21,600/セット

2液混合タイプのエポキシ樹脂系接着剤です。塗工性の良さとクシ目山立ち性の良さを兼ね備え、耐水、耐熱性にも優れています。厚単板、無垢フローリングの直張り接着に最適。※約30㎡施工相当分



JIS A 5536 F☆☆☆☆ JAIA 4VOC 基準適合

UR-145 (ウレタン樹脂系)

5Kgアルミパック×4 ￥22,200/セット

1液湿気硬化タイプのウレタン樹脂系接着剤です。施工性の良さとクシ目山立ち性の良さを兼ね備え、耐水、耐熱性も優れています。厚単板、無垢フローリングの普通張り接着と、床暖の小根太接着に最適。※約30㎡施工相当分



JIS A 5536 F☆☆☆☆ JAIA 4VOC 基準適合

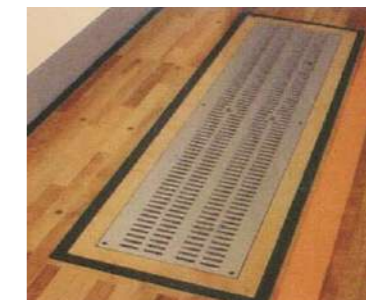
UR-151 (ウレタン樹脂系)

10kg缶×2 ￥24,000/セット

体育館木床施工用1液ウレタン樹脂系の接着剤で耐水、耐熱性、接着強度に優れます。低粘度タイプですので施工性に優れ、広い面積の床施工に適しています。

エキスパンションゴム

材質：クロロプレン(CR) 発泡体(色)：黒



寸法(mm)	梱包
10×15	100m
10×18	100m
15×15	100m
15×18	100m
15×20	100m
18×18	100m
18×20	100m

直張り施工

1. 施工下地面（モルタル、スラブ面等）の清掃を行います。
2. 下地（モルタル、スラブ面等）含水率は、8%以下とし、不陸は1mあたり3mm以内とする。
3. 2液型エポキシ樹脂系接着剤、または1液型ウレタン樹脂系接着剤を使用する。
4. 建設業者様に確認を行い、基準線の墨出しを行います。
5. 仮並べを行い、フローリングの色のバランスを確認します。
6. 接着剤のメーカー仕様により、オープンタイムや気温等の諸条件を確認し、専用のクシ目ゴテで400g~600g/m²程度接着剤を塗布し、フローリングを張り込みます。
7. 標準の張り方として、長手方向に乱尺張りとし、フローリングの伸縮に対応するために壁際や枠廻りは5mm~10mm程度の隙間を空けます。
8. フローリングの張り込み後、12時間以上の養生時間をとります。

モルタル埋設型床暖房について

1. モルタル埋設型床暖房設備上に施工する場合には必ずフローリング施工前に試運転を行い、モルタル内部の水分を排出させるとともに、モルタル表面に大きなクラックが発生した場合には補修を行ってください。
2. フローリング施工時には、床暖房を止める。

捨張り施工

1. 施工下地面（合面等）の清掃を行います。
2. 1液ウレタン樹脂系接着剤を使用する。
3. 建設業者様に確認を行い、基準線の墨出しを行います。
4. 仮並べを行い、フローリングの色のバランスを確認します。
5. 接着剤のメーカー仕様により、オープンタイムや気温等の諸条件を確認し、専用のクシ目ゴテで200g~400g/m²程度塗布しフローリングを張込む。
木根太に直張りの場合には、木根太に適量の接着剤を塗布しフローリングを張り込みます。フローリング張り込み時に、雄サネ上部から、斜めに隠し釘（フロアーネイルまたはステーブル）を打込み、固定します。
6. 標準の張り方として、長手方向に乱尺張りとし、フローリングの伸縮に対応するために壁際や枠廻りは5mm~10mm程度の隙間を空けます。
7. フローリングの張り込み後、12時間以上の養生時間をとります。

特殊張り施工

1. 捨張り施工手順の①~⑥同様に行います。
2. フローリング雌サネ側寄りの表面の脳天にダボ穴をあけ、ビスまたはスクリュー釘を根太に打込み固定します。
ビスは根太材の材種により木ビス、または鋼製ビスを選び、32mm以上の長さのものとします。
スクリュー釘は35mm以上の長さのものとします。
3. フローリングの張り込み後、12時間以上の養生時間をとります。

研磨・塗装・コートライン施工

1. 研磨するフローリング面の清掃を行います。
2. ドラムサンダー及び、ポータブルサンダーにて、研磨作業を行います。標準的な研磨作業としては、荒掛▶中掛▶仕上の3工程行います。荒掛はサンディングペーパー #24~60、中掛はサンディングペーパー #60~80、仕上はサンディングペーパー #80~100以上を使用します。
3. 研磨作業終了後に、油性ウレタン樹脂塗料、または水性ウレタン樹脂塗料を塗る。（標準/油性:3回、水性:4回）
4. 研磨作業終了面を清掃し、刷毛、またはアプリケーション（羊毛布）で80~100g/m²を基準として下塗りし、乾燥養生する。
5. ポリッシャーマシンでサンディングペーパー #100~120以上にてポリッシャー掛けを行い、塗装面を平滑にします。
6. 中塗りを（油性:1回、水性:2回）④同様に行い、再度⑤を行います。
7. 各競技指定のコートラインを施工し、乾燥養生します。
8. 最後に、仕上げ塗りを④同様に行います。

※施工資料集は、標準的な施工における参考資料であり、施工場所・状況・状態により適応しない場合がございます。
詳しい内容につきましては、お近くの支店・営業所にお問い合わせください。

1. 通常の清掃

日常の清掃

化学モップ・雑巾等で乾拭きしてください。

ひどい汚れ・落ちにくい汚れの清掃

濡れ雑巾、または中性洗剤で汚れを落とし、その後、乾いた雑巾等で充分水分を除去してください。

2. 特殊な汚れの清掃

スリッパ・靴底によるワックス・油脂等の汚れ

中性洗剤で汚れを落とし、乾いた雑巾等で乾拭きしてください。

チューインガム等の付着

塗布面に傷がつかないようにパテナイフのような物で取り除いてください。
残った汚れは、フロアクリーナーなどで完全に除去してください。

清涼飲料水等による汚れ

速やかに濡れ雑巾、または中性洗剤で汚れを落とし、その後は乾いた雑巾等で充分に水分を拭き取ってください。
ベタつきを放置してしまった場合、固まってフローリング面や塗膜を傷つけてしまいます。

3. その他メンテナンス

フローリングは、木質材のため水分が嫌い

水をこぼさないように水分の持ち込みには、充分注意してください。フローリング面の水分を見つけた場合には、速やかに乾いた雑巾等で水分を拭き取ってください。

換気の推奨

フローリングは生きています。そのため、空気が滞留すると変形してしまう場合があります。
換気に関しては充分注意してください。

フロアー面が気になってきたら…

全面的に塗布面が薄くなり、磨耗したと感じた場合は床面の『再塗装』をお勧めいたします。
無垢材（または無垢材に近い単板材を使用したフローリング）につきましては、ポリッシャー掛けをして、水性ポリウレタン樹脂塗料を塗布することをお勧めします。その際の塗布は、状況に応じて1~3回の塗布となります。

詳しくは、専門的な工法となりますのでテーパーフローリングにご相談ください。